

によりコマンドプロンプトからレジストリの操作ができる。

Windows XP 以降なら標準で使用可能。

Windows 2000 ならインストール CD の Support Tool をインストールすることにより利用可能。

コマンド	意味	リモート
reg query	指定されたレジストリ・キーやそのサブツリーの値を表示する	可
reg add	レジストリにキーや値名、値を追加したり、既存の値を修正したりする	可
reg delete	レジストリから指定されたキーや値を削除する	可
reg copy	レジストリのツリーをコピーする。ローカル・マシンのレジストリ内だけでなく、2つのマシン間でのリモート・コピーも可能	可
reg compare	指定された2カ所のレジストリ(ツリー)を比較して、その相違点もしくは同じ部分を表示する	可
reg save	レジストリ・ツリーの保存。指定されたサブキー以下のツリーを指定されたファイルに保存する。保存されたファイルは次の「reg restore」でのみ利用可能。リモート・マシン上のレジストリを指定すると、そのマシン上の指定されたフォルダ(デフォルトは %SYSTEM_ROOT%) にファイルが保存される	(可)
reg restore	reg save で保存されたレジストリを、ローカル・マシン上の指定されたツリーの場合に復元する。リモート・マシンのレジストリを reg save した場合は、そのマシンへログオンして reg restore する必要がある	不可

reg load	reg save で保存されたレジストリを、元とは異なる場所へロード / 復元する。リモートのマシンへも書き戻せる	不可
reg unload	reg load 操作で読み込まれたレジストリのセクションを削除する	不可
reg export	指定されたキーやエントリ (とその値) をファイルに書き出す。GUI 版のレジストリ・エディタでレジストリを書き出したときに作成されるファイル (~ .reg) と同じ形式で保存される	不可
reg import	reg export で書き出されたレジストリ値をローカルのコンピュータに書き戻す。エクスプローラ上で ~ .reg ファイルをダブルクリックしたときの動作と同じ	不可

使用例

```
@echo off
set local

for /F "tokens=1,2,3*" %%i IN ('reg query HKEY_CURRENT_USER%Environment /v PATH') DO (
  IF "%%i" == "PATH" (
    set OLDPATH=%%k
  )
)
echo 古いパス %OLDPATH%
echo 新しいパス hoge;%OLDPATH%

echo reg add HKEY_CURRENT_USER%Environment /v PATH /d hoge;%OLDPATH%
```

参考 URL

<http://www.atmarkit.co.jp/fwin2k/win2ktips/391cmdreg/cmdreg.html>